

ワイデン+ケネディ トウキョウ、新体制を発表 デービッド・コールマンがチーフ・クリエイティブ・オフィサーに、 エレノア・ショーディーがプレジデントに就任



左:デービッド・コールマン 右:エレノア・ショーディー

京極一樹、ジョーダン・カバドシア、佐々木 洸介、エレノア・ショーディー、デービッド・コールマン、ニック・バーティカ、
パトリック・フェイヒー、太田 祐美子、富田 万木子、マックス・ビルワット、甲斐 しほ美、安藤 正弘（上段、左から時計回りにて表記）

グローバルに展開する独立系クリエイティブエージェンシー、ワイデン+ケネディ（以下、W+K）は本日、東京オフィスの新たな経営体制として、デービッド・コールマン（Chief Creative Officer）およびエレノア・ショーディー（President）の就任を発表しました（2026年5月12日付）。

本体制は、日本とグローバルの多様な才能を結集し、戦略とクリエイティビティのさらなる強化を図るものです。両名はそれぞれ、W+Kの海外拠点より着任します。

デービッド・コールマンについて

デービッド・コールマンは、W+K ロンドンより東京オフィスに着任。フォード・ヨーロッパ（19市場）およびP&G「Old Spice」のクリエイティブを牽引してきました。W+K入社以前はMother Londonに在籍し、MoneySuperMarket、Uber Eats、IKEAなどのブランドを担当。11年以上にわたるクリエイティブリーダーとしての経験を通じ、文化的な影響とビジネス面での成長を両立するスケールの大きなプロジェクトを数多く手がけてきました。代表的な実績には、Prime Videoシリーズ「Charge Around the Globe」や、フォードのグローバルリローンチ「Ready Set Ford」などがあります。

デービッド・コールマン コメント

「東京は他に類を見ない場所です。日本とグローバルの視点が交差することで、唯一無二のアイデアが生まれます。私たちは“型にアイデアを当てはめる”のではなく、“アイデアに自らを適応させる”べきだと考えています。今後はこのチームとともに、大胆で個性的なクリエイティビティをさらに育てていきたいと思います。」

エレノア・ショーディーについて

エレノア・ショーディーは、W+K アムステルダムより東京オフィスに着任。14年にわたりブランドビジネスリーダーとして活躍してきました。これまでに Samsung Mobile、Ray-Ban、Instagram、LVMH、Meta、Duolingo、Airbnb、Corona、Milka、Netflix など、幅広い業界のクライアントと協働。IPO 支援から革新的なテクノロジーのローンチまで、グローバルなコミュニケーション課題に取り組んできました。

エレノア・ショーディー コメント

「私たちのミッションは明確です。アジアのブランドとともに、そのブランドならではの“真実”と“声”を見つけること。それは単に商品売るためではなく、“語るべきこと”を持つブランドをつくることです。東京は創造性にあふれた街であり、このコミュニティの成長に貢献できることを大変楽しみにしています。」

グローバル CCO カール・リーバーマン コメント

「デービッドとエルは、W+K のオフィスを率いるにふさわしい存在です。彼らは仕事に情熱を持ち、人を大切にし、卓越した才能と高い志を兼ね備えています。W+K では常に、その土地の独自性を尊重しながら組織を築くことを重視しています。東京はローカルカルチャーとグローバルな視点が交差する特別な場所です。ここに根ざした価値を築くことこそが重要であり、彼らこそがそれを実現できる人物です。」

東京オフィス 新リーダーシップ体制

新体制のもと、以下のリーダー陣が組織を支えます。

安藤 正弘 (Chief Strategy Officer)

Max Pilwat (Group Creative Director)

太田 祐美子 (Creative Director)

Nick Partyka (Creative Director)

佐々木 洸介 (Head of Production)

京極 一樹 (Head of PR)

Jordan Cappadocia (Head of Brand Management)

甲斐 しほ美 (HR Director)

Patrick Fahey (Head of Communications Planning)

富田 万木子 (Head of Cultural Adaptations)

W+K Tokyo について

W+K Tokyo は 1998 年に設立され、日本およびグローバル市場に向けたクリエイティブを展開しています。Nike、IKEA、Match Group、MLB、Amazon、Eli Lilly などのブランドを担当し、「Nike Music Shoe」や Tinder「Swipe Mart」など、既成概念にとらわれないアイデアを生み出してきました。2025 年には MLB「Hometown Heroes」マンホールキャンペーンを実施し、グローバルで約 4,900 万ドル（日本円換算で約 73 億 5,000 万円相当）のアーンドメディア獲得、SNS フォロワー 2.5 万人増、約 13 万 6,000 人の現地来訪を達成。すべてペイドメディアに頼ることなく、オーガニックで実現しました。

また、次世代育成プログラム「Kennedy's 青ケツ」やカルチャーイベント「The Weekend」を通じて、日本のクリエイティブコミュニティにも貢献しています。

Wieden+Kennedy は、40 年以上にわたり世界有数のブランドを手がけてきた、世界最大級の独立系クリエイティブエージェンシーです。2025 年に Adweek「Global Agency of the Year」を受賞、2026 年には Fast Company「Most Innovative Companies」に 10 年連続で選出されるなど、世界的に高い評価を獲得しています。